

当院では、下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお知らせください。

受付番号 【 4-1 】

研究課題名	COVID-19 (coronavirus disease 2019) に対する院外トリアージシステムと地域病床運営の最適化
当院の研究責任者 (所属)	氏名 宮原 正晴 所属 血液内科
本研究の目的 (概要)	<p>世界的に猛威をふるっている COVID-19 (coronavirus disease 2019) は、日本でも甚大な被害をもたらす尊い命と経済的損失を招いている。特に医療システムへの打撃は大きく、熱があるだけで診療を拒否されてしまうケースや、院内感染により外来診療が出来ない病院も発生してしまった。医療関係者等の努力で新型コロナウイルス感染症の第 1 波は収束しつつあるが、第 2 波が訪れてしまう可能性もある。そのため今回の教訓を生かして柔軟に対処できるような備えをしておく必要があります。</p> <p>今回の新型コロナ対策として、佐賀県では救急車で搬送される患者さんに対して県独自の救急患者トリアージを行い、感染の可能性のある方を感染症指定医療機関に集約し、院内感染のリスクを最小限にする対応を行いました。</p> <p>今回、佐賀県及び福岡県で新型コロナウイルス感染症が疑われ PCR 検査を受けた患者さんの症状や行動履歴、検査結果等を収集し解析することで、トリアージの有効性を解析します。また重症度別に搬送先を変える地域にマッチした新たなトリアージを考案し検証します。本研究は新型コロナウイルス感染症の第 2 波や新たな感染症が発生してしまっても、持続可能な医療システムを維持するための考察を行います。</p>
調査データの該当期間	<p>【症例登録 (対象) 期間】</p> <p>臨床研究倫理審査結果通知書交付日～2021 年 9 月 30 日</p>
研究の方法 (使用する情報等)	<p>PCR 検査を受けた患者さんの、症状や行動履歴、検査結果を収集し解析します。後ろ向きの研究であり、使用する試料・情報等は以下の既存情報を使用します。患者さんへの新たな介入、侵襲ともありません。研究の情報を公開したオプアウトを用いて行います。(年齢、性別、患者イニシャル、並存疾患、生活歴 (飲酒・喫煙)、身長、体重、服薬歴、発症 2 週間前までの行動履歴、COVID-19 患者との接触歴、患者住所 (県・市町村まで)、症状の推移、バイタルサイン、血液検査結果 (CBC・生化学・凝固・血液ガス)、PCR 検査結果の推移、胸部レントゲン所見、胸部 CT 所見、入院中の酸素投与量の推移、人工呼吸器使用期間、入院中の使用薬剤、気管切開の有無、最終転帰 (転院先病院名まで含む)) 等。</p>

試料／他研究機関への提供及び提供方法	共同研究施設へのデータの送付は、電子媒体に保存し郵送します。
個人情報の取り扱い	個人を特定できないように匿名化を行います。
本研究の資金源（利益相反）	無し
お問い合わせ先	【研究担当者】氏名 宮原 正晴 血液内科 佐賀県唐津市和多田 2430 TEL (0955) 72-5111 FAX (0955) 73-9530
備考	